## 東北コットンプロジェクト

2011年に始まった東北コットンプロジェ クトは、綿の栽培、紡績、商品化、販 売を参加各社が共同で展開し、農業 を通じて東日本大震災の復興をめざす 農業法人やアパレル関連企業の有志 60社(2012年10月現在)が集結し、種 まきから草取り、収穫へと試行錯誤し ながら綿を栽培しています。昨年、初 の収穫を得て製品化を果たし、今年の 春、プロジェクトは2年目の栽培に入り ました。



www.tohokucotton.com

09.15

9月の仙台とは思えない 暑さの中で、たくさんの ボランティアが草取りに 参加。「綿の宝探しみた い!!」と声があがるほど、 雑草の多い場所も。大 切な綿だけを残し、雑草 を取り除くには、丁寧な 手作業が頼りです。

写真/中野幸英

紡績工場

花見の会 &草取り

## 東北コットン2012コレクション

www.tohokucotton.com/collection2012/

昨シーズン収穫された 東北コットンの糸を使用したタオル製品4アイテム各3色。ストール製 品2アイテム各3色。デ ニム製品はメンズ1アイ テム、レディース2アイ テム。ポロシャツはメン ズ1アイテム、レディー ス1アイテムを展開。



「東北コットンプロジェクト」のタオル・ストールは、 マイルがたまるJALショッピングでもお買い求めいただけます。 www.shop.jal.co.jp/cotton/

2012. 08.28

プロジェクトに賛同するさまざまな企 業が、各社独自に草取りを企画し 実行しています。JALグループでも 去る8月28日に、仙台空港、東北 支店、羽田空港などから約30名の 有志が草取りを行いました(写真)。

「少しでも農家の方々の助けになればと、昨年から 参加。精神的にも前向きになれる計画だと思いま す。今後、もっと綿花畑が増え、さらに多くのボラ ンティアが参加するようになればよいですね」(仙台 空港勤務・高橋奈々絵)



このプロジェクトの継続に意欲を燃やす生 産者の皆さん。「綿では早稲種がこの土 地に合っていることなど、綿の栽培ノウハウはつかめました。ただ湿度管理、除草、 殺虫などの課題もあります。多くの仲間と ともにここを乗り越え、軌道に乗せたい」

に3分の2以上売れ、 支持を感じます。 それだけに、昨年、収穫を分

らず広げていこうと考えています 合って製造した商品が好評だった としての出口をきちんと作り、 ことは関係者を勇気づけました。 「決して安価ではない商品が、 ルの製造を担当 お客様 後も商 か 焦 品 既 5

評価をいただきました。その満 「デニムの肌触りの良さなどに高 た天衣無縫の藤澤 徹さん)。

ながってくれるとうれしい。 足度と東北コットンのイメ います」(デニムとポロシャツの も製品に必ずこの東北コッ 入っているようにできたらと思って んが、関係者全員が知恵を 山を越えなけ 少し。これ 少量で から 製造



っと多くの収穫が期待できそ 多くの綿が育 それでも うで

出そうとするものです。 ることで、新しい地場産業を パレル製品の販売までを実 興支援ではなく、 は一過性の復 綿の栽培

APAN AIRLINES

